

～具体的な取り組み～

基幹科目  
■ 心理支援論

学生と支援の現場をつなげる  
■ 体験活動サポート室

地域との交流で視野を広げる  
■ 白金こころ塾

卒業生・在学生・教員のネットワーク  
■ 白金心理学会  
(白金サイコロゼ)

学生による成果報告



【新着情報】

■ 更新履歴



2011.03.31  
学生による成果報告を掲載しました



2010.03.29  
【心理学部】質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）ホームページをリニューアルしました



2009.03.31  
【心理学部】質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）ホームページを開設しました

あなただけのこころを  
見たい  
**心理臨床センター**  
ご利用の方はこちらから▶▶▶

学生と“支援の現場”をつなげます。  
明治学院大学心理学部 教育GP  
**体験活動サポート室**

**白金心理学会**  
～白金サイコロゼ～

**心理学部附属研究所**

トップ

はじめに  
(学部長挨拶)

心理支援力とは

プログラムのコンセプト

プログラムの特徴  
～循環型教育システムと参加型エンバウメント評価～

## 社会に求められる「心理支援力」の育成を目指して

心理学教育プログラム（教育GP）トップ > はじめに（学部長挨拶）

### 社会に求められる 「心理支援力」の育成を目指して

明治学院大学 心理学部長 井上孝代



心理学部は2004年に文学部心理学科より改組し、「ころを探り、人を支える。」というテーマのもと、心理学の基礎から臨床の広い領域に亘る実践的な教育を進めてきました。私たちは本学の教育理念である「Do for Others」（他者への貢献）に照らし、「心理支援力のある人材の育成」を教育目標としています。

私たちはこの心理支援力を、ころのメカニズムを科学的に理解するとともに、状況に応じて様々な形で家庭・学校・地域・社会などへ活かすことの出来る基幹的な力、いわば「人間力」として位置づけています。

現代社会は「ころの時代」とも言われ、インターネットなどの急速な普及により、膨大な情報に囲まれ、価値観も多元化しています。人と人との心理的つながりが希薄化し、コミュニケーションがとりづらくなっています。

そうしたなかで自己の精神的健康を維持し、同時に周囲の人々を心理的に支援していく力が強く求められているといえましょう。

心理支援力のある人材の育成にあたっては、基礎知識と実践的な体験の蓄積により修得されると考えています。そのため学生には具体的に以下の能力の修得をめざし教育を総合的に進めています。

- (1) ころの仕組みを科学的に理解する能力
- (2) 地球市民としての共感能力
- (3) 「自己理解力」、「他者理解力」、「関係理解力・関係調整力」を育成し、周囲の人を支援できる能力
- (4) 積極的な問題解決能力 などです。

現状としては、まず、心理学の基礎力の確かな習得を出発点とし、自分の興味・関心がある分野を選択しながら、将来、一般企業やカウンセラーなどの専門職として働くときに役立つ心理学の専門分野を幅広く学べるよう修学支援を行っています。さらに、実験や臨床実習を通してグループでともに考え行動する経験を深め、学生相互の結びつきを強めることも目指しています。また、多くの卒業生を輩出していることを活用し、縦の結びつきと人的・地域資源を実習教育などに取り入れた横の広がりのある教育の実践が本学部の特色です。

今後はさらに、履修者の個人的ニーズに根ざしたキャリア形成のための資格取得に対応したカリキュラム策定を行うなど、一貫して社会に求められる「心理支援力」の育成を目指しています。

#### 教育GPとは？

文部科学省は、各大学・短期大学・高等専門学校などが実施する教育改革の中から優れた取り組みを選定し、重点的な財政支援を行う「質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）」を実施しています。この「優れた取り組み」を「Good Practice」と呼び、これを略して「GP」と呼んでいます。

心理学部の取り組みは2008年度文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）」として選定されました。

■ 文部科学省ホームページ「教育GP」

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/kaikaku/gp.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/gp.htm)



トップ

はじめに  
(学部長挨拶)

心理支援力とは

プログラムのコンセプト

プログラムの特徴  
~循環型教育システムと参加型エンバウメント評価~

## これからの社会に求められる「心理支援力」とは？

心理学教育プログラム（教育GP）トップ > 心理支援力とは

### 心理支援力とは

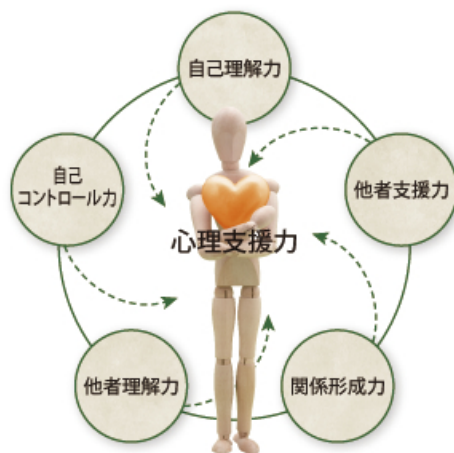
#### ■「心理支援力」とは

「心理支援力」とは、ストレスの多い現代社会において、自己の精神的健康を維持し、また周囲の人々を心理的に支援していく人間力ともいえ、現代社会においては今後ますます必要となる基本的力です。

複雑化・多元化する社会では、ころの仕組みを科学的に理解するとともに、自身の心身の健康を保ち、また、状況に応じてさまざまな形で心理学を活かした家庭・学校・地域・社会などにおいて機能する心理支援力が必要です。

『心理支援力』は、自己理解力、自己コントロール力、他者理解力、関係形成力、他者支援力を意味しており、これらを身につけるには、確かな心理学の基礎知識と、実践的な体験の蓄積が必要です。

#### ■「心理支援力」を構成する5つの要素



#### ■「心理支援力」を培う教育プログラム

心理支援力を身につけるためには、まず、心理学の基礎力の確かな習得を出発点とし、自分の興味・関心がある分野を選択しながら、将来、一般企業やカウンセラーなどの専門職として働くときに活かせるさまざまな心理学の専門分野を学ぶ、体系的なカリキュラムが必要となり、これを担う目的で設定されたのが1年次から4年次までの一貫したカリキュラムである「心理支援論」です。

理論学修と体験学修、およびゲストスピーカーによる講演などを通じて、「ころを探り、人を支える」心理学の修得を目指しています。

#### 具体的な「心理支援力」

- 心理学概論や心理学基礎実験・心理学研究法などの基本科目を通して、ころの仕組みやメカニズムについて科学的に理解する能力。
- 基礎系から臨床系までの幅広い専門領域にまたがる基礎的講義科目や実習科目の学修を通して、心理学への興味が開発され、自分や家族などの狭い範囲のみならず地域や社会、地球市民としての心理学的関心を寄せる共感能力。
- 心理支援論を基幹科目とする一連の教育を通して、「自己理解力」を高め、「他者理解力」を育て、双方向的な「関係理解力・関係調整力」を身につけ、それにより自らのメンタルヘルスの向上・維持および、周囲の人を支援できる能力。

問題の根本的発生要因（物理的、心理的、社会的、環境的）に気づき、積極的に対決する知性に裏付けられた問題解決能力。

トップ

はじめに  
(学部長挨拶)

心理支援力とは

プログラムのコンセプト

プログラムの特徴  
～循環型教育システムと参加型エンバウメント評価～

## 心理支援力とは人間力

■ プログラムのコンセプト

■ プロジェクトメンバー

■ 関連リンク

心理学教育プログラム（教育GP）トップ > プログラムのコンセプト

### プログラムのコンセプト

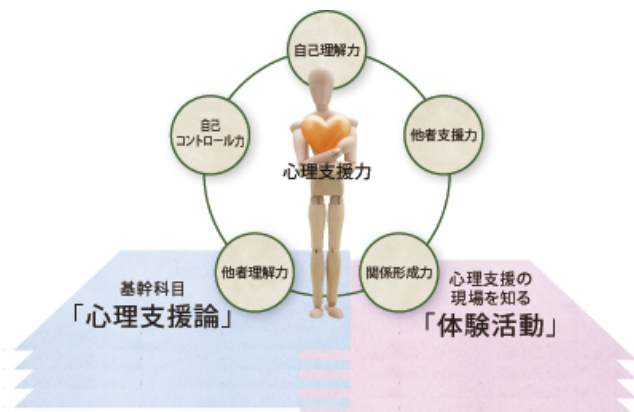
#### ■ 基幹科目「心理支援論」による心理支援力の育成

ころの世紀と称され、人々の日常生活での不安の高さとその解決策が希求される現代において、心理学を学んだ者に対する社会の期待は多様な領域でますます大きなものになっています。

こうした社会ニーズに応えるために、心理学の基礎領域、臨床領域、特別支援教育領域を専門とする心理学部の全教員が関わり、心理学の全領域にわたって総合的に学修させる4年間の構造化された必修プログラムである「心理支援論」を開設しました。

そこでは、事象の認知や集団行動、情動調整のメカニズムや原理などを解明する基礎心理学に基づく学修と、自己の精神的健康を維持し、同時に周囲の人々を心理的に支援するための応用心理学の学修により、心理支援力を修得します。

心理支援力とは共感性、対人関係スキル、ストレスマネジメントなどの、いわば「人間力」に基づくものです。



#### ■ 社会へ、そして心理学教育の新スタンダードに向けて

こうした「心理支援力」を身につけた人材は、社会のいかなる場面や状況においても適切に対応でき、社会の様々な場面で、その活躍が期待されています。

そしてこの流れを、明治学院大学心理学部の中だけにとどめるのではなく、広く「心理学教育の新スタンダード」としての構築していこうと考えています。そうすることで、コミュニティの心理支援システムの開発・構築を推進し、さらに高度な心理学の素養をもった人材を養成していきます。

このことが、社会へ貢献し、本学の教育理念"Do for Others"を実現していくことにつながると確信しています。

#### ■ プログラムを構成する具体的な取組み

基幹科目

■ 心理支援論

学生と支援の現場をつなげる

■ 体験活動サポート室

地域との交流で視野を広げる

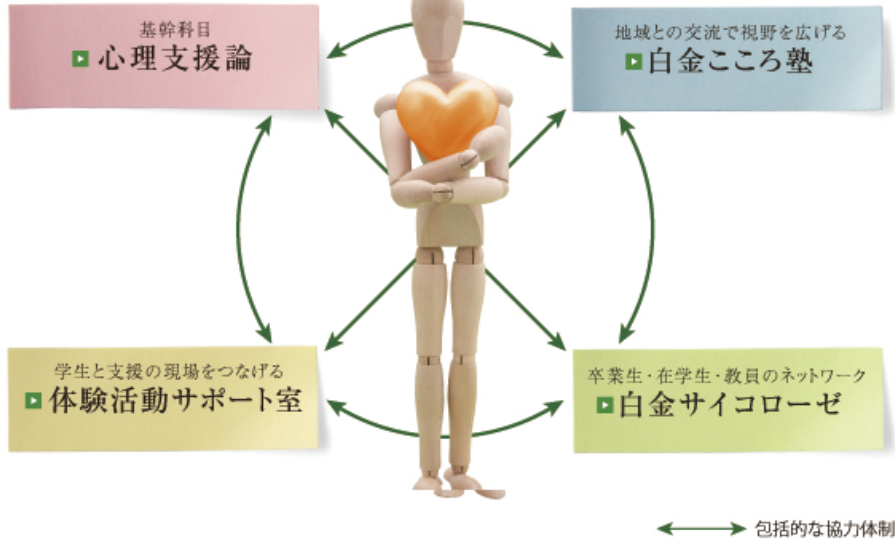
■ 白金ころ塾

卒業生・在学生・教員のネットワーク

■ 白金サイコロゼ

(白金心理学会)





[トップ](#)

[はじめに](#)  
(学部長挨拶)

[心理支援力とは](#)

[プログラムのコンセプト](#)

[プログラムの特徴](#)  
~循環型教育システムと参加型エンバウメント評価~

## 心理支援力は人間力

[■ プログラムのコンセプト](#)

[■ プロジェクトメンバー](#)

[■ 関連リンク](#)

心理学教育プログラム（教育GP） [トップ](#) > [プログラムのコンセプト](#) > [プロジェクトメンバー](#)

### プロジェクトメンバー

#### ■ 2010年度 明治学院大学 心理学部 教育GP推進室

阿部 裕	(臨床精神医学)
井上孝代	(カウンセリング心理学)
市川珠理	(心理査定学)
岩男卓実	(認知心理学)
緒方明子	(障害児・者心理学)
金沢吉展	(健康心理学・コミュニティ心理学)
金子 健	(特別支援教育学)
小林潤一郎	(障害児医学)
佐野直哉	(精神分析学)
清水良三	(臨床動作学)
杉山恵理子	(臨床福祉心理学)
田中知恵	(産業・組織心理学)
中井あづみ	(臨床心理学 (認知行動療法))
野木武義	(家族心理学)
野村信威	(生涯発達心理学 (高齢者))
花田安弘	(生理心理学)
藤崎真知代	(生涯発達心理学 (乳幼児・児童))
宮本聡介	(社会心理学)
山崎 晃	(生涯発達心理学 (児童・青年))
川淵竜也	(体験活動サポート室担当、臨床心理士)
工藤三知代	(体験活動サポート室担当、臨床発達心理士)

基幹科目

[■ 心理支援論](#)

学生と支援の現場をつなげる

[■ 体験活動サポート室](#)

地域との交流で視野を広げる

[■ 白金こころ塾](#)

卒業生・在学生・教員のネットワーク

[■ 白金サイコロゼ](#)  
(白金心理学会)



トップ

はじめに  
(学部長挨拶)

心理支援力とは

プログラムのコンセプト

プログラムの特徴  
～循環型教育システムと参加型エンバウメント評価～

## 心理支援力は人間力

■ プログラムのコンセプト

■ プロジェクトメンバー

■ 関連リンク

心理学教育プログラム（教育GP）トップ > プログラムのコンセプト > 関連リンク

### 関連リンク

■ 体験活動サポート室

<http://taiken.meijigakuin.ac.jp/support/index.html>

■ 心理学部オフィシャルサイト

<http://psy.meijigakuin.ac.jp/>

■ 心理臨床センター

<http://psy.meijigakuin.ac.jp/clinic/>

■ 白金心理学会

<http://sirosin.org/>

基幹科目

■ 心理支援論

学生と支援の現場をつなげる

■ 体験活動サポート室

地域との交流で視野を広げる

■ 白金こころ塾

卒業生・在学生・教員のネットワーク

■ 白金サイコロゼ  
(白金心理学会)

トップ

はじめに  
(学部長挨拶)

心理支援力とは

プログラムのコンセプト

プログラムの特徴  
~循環型教育システムと参加型エンパワメント評価~

## 進化し続ける教育プログラム

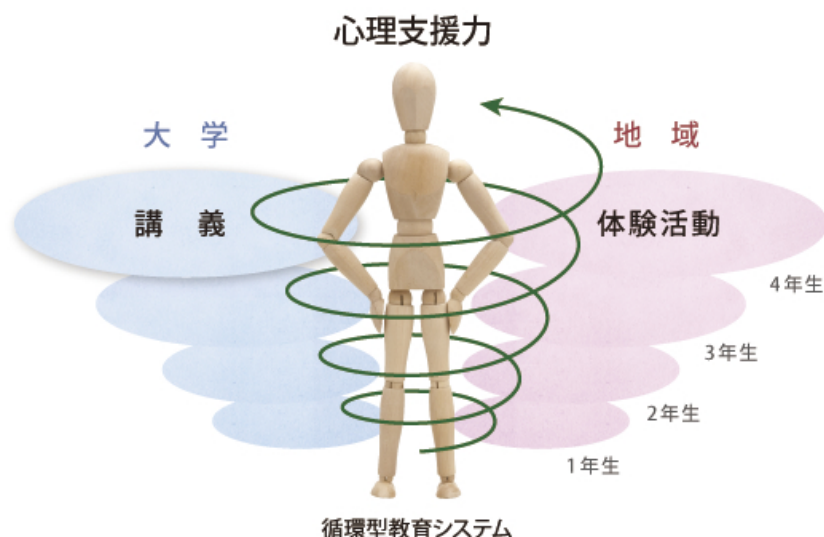
心理学教育プログラム（教育GP）トップ > プログラムの特徴

### プログラムの特徴

#### ■ 循環型教育システム

本プログラムの特徴である「循環型教育システム」は、学内での講義と学外の心理支援の現場での体験活動とを並行して行うものです。多様な現場での学生各自の体験活動での経験を大学内での授業に持ち帰り、講義やグループ学修などを通して共有し、心理支援の理解を深め、さらに学生各自の体験活動を充実・深化させていきます。また、こうした教育システムの適用による教育効果を評価するために、アンケート調査、レポートのほか、個別の参加型エンパワメント評価を導入しています。

#### ■ 循環型教育システムの概念



#### 参加型エンパワメント評価とは

この教育プログラムを改善し、より向上させていくために用いられているのが「参加型エンパワメント評価」です。エンパワメント評価は、外部の専門家などに評価をゆだねるのではなく、この教育プログラムに関わる人すべてが参加して行います。エンパワメントとは、個人や組織などに力を付与すること、能力や権力を与えることです。この教育プログラムの評価に加わる力を付与された学生や教員などの関係者は、問題解決の力を獲得していくとともに、協働的にプログラムの達成度を高めていくことができます。

基幹科目  
■ 心理支援論

学生と支援の現場をつなげる  
■ 体験活動サポート室

地域との交流で視野を広げる  
■ 白金こころ塾

卒業生・在学生・教員のネットワーク  
■ 白金サイコロゼ  
(白金心理学会)

トップ

はじめに  
(学部長挨拶)

心理支援力とは

プログラムのコンセプト

プログラムの特徴  
~循環型教育システムと参加型エンバウメント評価~

## 心理支援力を育てます

心理学教育プログラム（教育GP）トップ > 心理支援論

基幹科目  
心理支援論

学生と支援の現場をつなげる  
体験活動サポート室

地域との交流で視野を広げる  
白金こころ塾

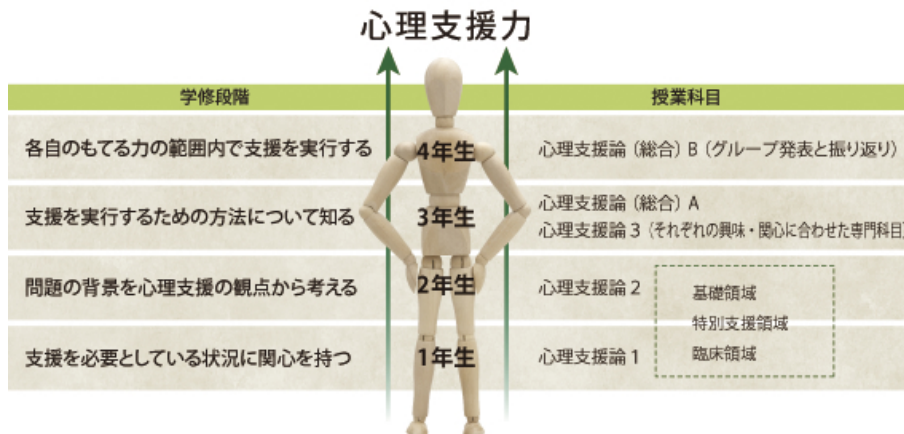
卒業生・在学生・教員のネットワーク  
白金心理学会  
(白金サイコロゼ)

## 心理支援論

### ■ 基幹科目「心理支援論」

心理学部では2005年度より心理学部基幹科目として「心理支援論」（必修）を設置しました。この科目では、基礎領域（生理・認知心理学、発達・社会心理学）、特別支援領域（障害児・者心理学、特別支援教育学、障害児医学）、および臨床領域（臨床心理学、臨床動作学、グループ・アプローチ、カウンセリング、精神医学）を専門とする心理学部全教員が関わり、各領域に関連づけた心理支援のあり方や方法などを論じ、心理学に関わる総合的学習を進めています。こうした試みはこれまでの心理学教育では見られないユニークな取組です。基幹科目「心理支援論」は、4年間にわたる必修科目として体系的・系統的にカリキュラムに位置づけられています。1年次では心理支援論1、2年次には心理支援論2、3年次には心理支援論3、心理支援論（総合）A、4年次には心理支援論（総合）Bを履修します。この4年間の学修を通して、いかなる対象の人々にも、いかなる状況にも対応できる「心理支援力」を身につけた人材を育成することを目指しています。

### ■ 「心理支援力」の学修プロセス



授業の様子



グループ学習



個人発表



トップ

はじめに  
(学部長挨拶)

心理支援力とは

プログラムのコンセプト

プログラムの特徴  
～循環型教育システムと参加型エンバウメント評価～

## 心理支援力を育てます

心理学教育プログラム（教育GP）トップ > 体験活動サポート室

基幹科目  
心理支援論

学生と支援の現場をつなげる  
体験活動サポート室

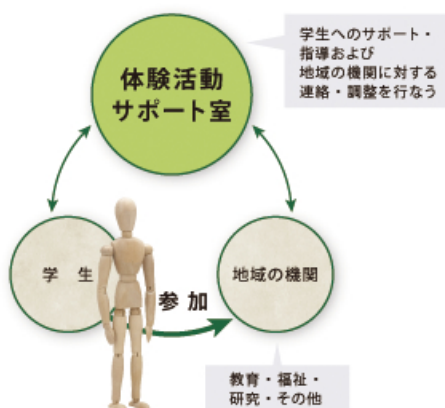
地域との交流で視野を広げる  
白金こころ塾

卒業生・在学生・教員のネットワーク  
白金心理学会  
(白金サイコロゼ)

## 体験活動サポート室

### ■「体験活動サポート室」が、学生と“支援の現場”をつなげます。

大学近郊のコミュニティ資源を活用し、多様な現場での体験活動に学生をつなぐための指導、および各現場との調整の役割を担うために開設したのが体験活動サポート室です。心理学部学生を対象とした体験活動における教育活動の場として、また地域の機関と心理学部学生の接点として機能します。

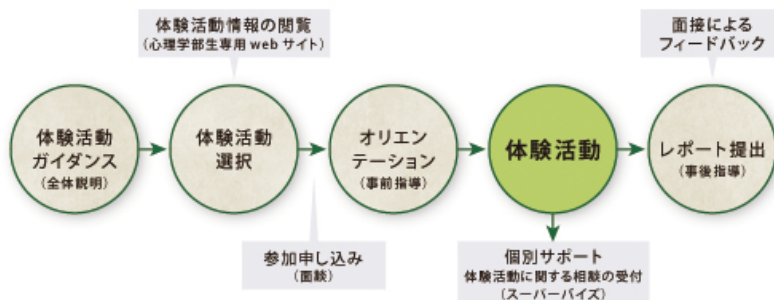


### ■専任教員が、体験活動の学びをサポートします。

#### <学生へのサポート・指導>

現場経験豊富な専任の教員（臨床心理士・臨床発達心理士）が、体験活動参加者全員に対し、面談形式によるサポート・指導を行います。活動への参加態度や注意事項、学修の視点、活動中に生じた疑問や課題への相談、活動後の学修のまとめについて、サポートします。

#### ■学生へのサポートの流れ



### ■体験活動バンク

学生を対象とした募集情報を「体験活動バンク」に集約します。募集条件について、必要に応じ募集先機関との調整を行います。学生向けに募集情報を周知し、参加希望学生をとりまとめて募集先機関に連絡します。



■ 地域社会を支えている現場が、体験活動の場です。

心理支援と関連のある地域の現場で、学生に可能な範囲のお手伝いをさせていただいています。

	教育機関	福祉施設	研究機関	医療ほか
登録機関の種類	幼稚園、小中学校 教育相談機関 特別支援学校 民間教育機関など	児童福祉施設 障害児者支援施設 母子福祉施設 高齢者福祉施設など	国・公・民間の 研究所、大学 など	病院、診療所 NPO 親の会など

■ 体験活動サポート室 オフィシャルサイト

<http://taiken.meijigakuin.ac.jp/support/index.html>

トップ

はじめに  
(学部長挨拶)

心理支援力とは

プログラムのコンセプト

プログラムの特徴  
~循環型教育システムと参加型エンバウメント評価~

## 心理支援力を育てます

心理学教育プログラム（教育GP）トップ > 白金こころ塾

基幹科目  
心理支援論

学生と支援の現場をつなげる  
体験活動サポート室

地域との交流で視野を広げる  
白金こころ塾

卒業生・在学生・教員のネットワーク  
白金心理学会  
(白金サイコロゼ)

## 白金こころ塾

### ■ 白金こころ塾の開講と活用

現代社会における心理支援のニーズや支援の実際について、支援の当事者、第一線で活躍する実践者・実践研究者などのゲスト・スピーカーによる「白金こころ塾」を、授業の一環として行うと同時に地域の人々にも開放し、地域と顔のみえる関係を形成していきます。

たとえば、講演後の質疑討論には学生だけでなく、地域の人々も参加することになります。このことによって学生は地域の人々の意見を聞いたり、交流を図ることができるため、幅広い視野で社会事象を把握・理解し、心理支援について机上の理解にとどまらない体験的理解を深めることが可能になります。つまり、白金こころ塾は、大学からの社会還元ということだけでなく、地域からの大学や学生への還元も実現していることになり、まさに相互循環的支援学修の場ともなっているのです。



### ■ 公開講座「白金こころ塾」

2010年度白金こころ塾では、「犯罪とこころ」をテーマに、本学法科大学院と協働して全2回の公開講座を開講しました。

#### ● 第1回：「精神障害と犯罪」

講師：本学法学部専任講師 緒方あゆみ先生

「精神障害犯罪者」についての法的な定義、現法下での処遇の重視点、鑑定ガイドラインの整備や見直しが必要とされる点など、精神障害と犯罪との関係について講演いただきました。

#### ● 第2回：「法廷で供述すること」

講師：本学法科大学院教授 弁護士 渡辺咲子先生

「一番話しにくい」ところである法廷で誘導せずどう尋問するか、証言内容が変わったときの真相はどこにあるか、人のこころにどこまで踏み込むのかなど法的な真実を導く過程を講演いただきました。

#### ● 2009年度白金こころ塾

##### 第1回：「子供の声を聞く」

講師：本学法科大学院教授 弁護士 中川明先生

子どもの意見表明権などの取り組みを中心に、子どもを一人の人格として尊重し、子どもの目線で子どもの身になって考え、対話を積み重ねていくことの意義について講演いただきました。

##### 第2回：「カウンセリングとロイヤリング～心理と論理の間～」



講師：本学法科大学院教授 弁護士 戒正晴先生

法律問題の解決にも、実は心理の問題が大きな位置を占めることや、法による解決と納得による解決、大規模災害時の傷ついた心の問題の対応などについて講演いただきました。

---

●2008年度白金こころ塾

第1回：「永野流、無から形にする方法」

第2回：「エンパワメント評価」

第3回：「ザ心理支援論～明治学院大学心理学部の挑戦～」

第4回：「こころの街づくり講座」

---

トップ

はじめに  
(学部長挨拶)

心理支援力とは

プログラムのコンセプト

プログラムの特徴  
~循環型教育システムと参加型エンバウメント評価~

## 心理支援力を育てます

心理学教育プログラム（教育GP）トップ > 白金心理学会（白金サイコロゼ）

基幹科目  
心理支援論

学生と支援の現場をつなげる  
体験活動サポート室

地域との交流で視野を広げる  
白金こころ塾

卒業生・在学生・教員のネットワーク  
白金心理学会  
(白金サイコロゼ)

## 白金心理学会(白金サイコロゼ)

### ■ 白金心理学会(白金サイコロゼ)

心理学科は設立以来約20年の間に、大学院博士前期課程（修士）、博士後期課程（博士）を含め、延べ2000人を数える卒業生を輩出してきました。

卒業生の皆様の豊かな力を資源とし、心理学部・大学院心理学研究科を基盤として、卒業生と在 student そして教職員の交流と教育、研鑽のための新たなネットワークであり、心理学部全体の「こころの輪」として機能することを目的として2008年に創設されたのが「白金サイコロゼ」です。



「白金サイコロゼ」は心理学科卒業生や大学院心理学専攻修士生、現在の学部および大学院の在 student、および旧・現心理学科教職員からなり、明治学院大学の心理学コミュニティをつなげていくとともに、教育・研究の充実化を図っています。



卒業生には、卒業後のライフステージの変化に応じた学びとその支援の場を、また在 student には大学生活のサポート・キャリア支援、先輩との交流の場を提供していきます。

■ 白金心理学会 オフィシャルサイト

<http://psy.meijigakuin.ac.jp/shiropsy/>